

稲作管理特報

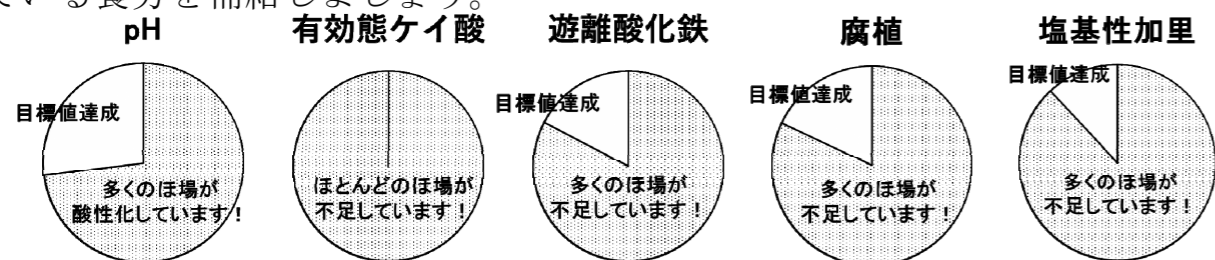
令和5年3月3日
入善産米品質向上対策本部
黒東地域農業技術者協議会

品質の高い「みな穂米」生産のためには、まず「土づくり」です。「ケイ酸質資材」や「堆肥・発酵けいふんなどの有機質資材」の施用と「15cm以上の深耕」によりスタートしましょう。

1 土づくり ～不足している土壌の養分を補給する～

土壌診断の結果、みな穂農協管内では、リン酸は目標値に達しているものの、pHが低く、ケイ酸や鉄、腐植、加里は多くのほ場で不足しています。

耕起前に、ケイ酸質資材や有機質資材などの土壌改良資材を施用し、不足している養分を補給しましょう。



ポイント1 ケイ酸質資材の継続的な施用

- ・土壌改良資材の施用を中止すると土壌中のケイ酸含量は急激に低下しますので継続して施用しましょう。
- ・ケイ酸分を補給することで稲の病害虫に対する抵抗力が高まるとともに、倒伏しにくくなるなど、米の品質向上につながります。

標準施用量 (①、②、③より選択)

①	「シリカパンチ F」 120kg/10a 施用
②	「珪酸石灰」 160kg/10a と 「苦土重焼燐」 20kg/10a ※
③	「アサヒニューテツ」 160 kg/10a と 「苦土重焼燐」 20kg/10a ※

※洪積地帯 (山手) は「苦土重焼燐」 40kg/10a 施用

ポイント2 有機物の施用

- ・堆肥や発酵けいふんは、土壌の透水性の改善や養分保持力を増進させる効果があるので確実に施用しましょう。

主な有機質資材

- 牛ふん堆肥 (1 t /10a)
- グリーンウェイブ 2 (60kg/10a)
- 発酵けいふん (春施用 75kg/10a)

ポイント3 トラクタの速度を落とし、15cm以上の深耕を確保

- ・現状+3cmの深耕に努めましょう。
- ・深耕により根の伸長が促進され、根域が拡大し、米の品質向上につながります。

みな穂の米づくりは、まず「土づくり」から始めよう！

2 農作業安全・農業用水路への転落防止

近年、トラクタによる農作業事故が多く発生しています。

トラクタを含めた農作業機械による事故を未然に防止するために、以下の対策を行いましょう。

また、春作業の始まりとともに、農業用水路への水量も多くなりますので、転落しないよう注意して下さい。

1 農作業事故の未然防止対策

- ・農場等の危険箇所を事前に把握し、目印を設置するなど改善に努めましょう。
- ・余裕をもった作業計画を立て、複数人での作業を心がけましょう。
- ・各作業に応じた服装、保護具を着用しましょう。
- ・機械等の使用前に、正しい使用方法を作業員全員に周知しましょう。



(例) 転落の危険性を警告する看板設置

※とやまGAP規範を活用することで効果的に行えます。

2 トラクタ使用時の注意事項

- ・転倒転落の防止対策として、危険箇所での減速や路肩の補強などを行いましょう。
 - ・トラクタ作業の際は、引っ掛かりや巻き込まれにくい服装をし、滑りにくい靴、ヘルメットを装着しましょう。
 - ・安全フレームとシートベルトはセットで使用しましょう。
 - ・作業機取替、点検修理中、つまり除去時はエンジンを停止しましょう。
 - ・乗降時は場所を確認し両手で支えましょう。
- ※とやまGAP規範については、営農指導員にお尋ね下さい。

春の土づくり運動 (令和5年3月～4月)

春の農作業安全運動 (令和5年3月1日～5月31日)

★JAみな穂営農情報メールを配信しています。

下のQRコードを読み込み、案内に沿って手続きして下さい。

<p>主な情報提供内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水稻・大麦・大豆の生育情報及び今後の管理 ・気象情報と災害防止の対策 	
--	--